

なんでもご相談ください!
090-8025-4457

武蔵野市議会議員
フカキミの

深田貴美子 《いっぽいっぽ通信》



第17号

もう一度— さすが、武蔵野と言わせたい

武蔵境 三鷹北口 吉祥寺—

それぞれの「武蔵野」の風景があり、それぞれが大切にしている13のまちがあります。みんなで力を出し合い、汗をかいて、時には議論をし、そして譲り合っ
て「リーディングシティ武蔵野」を創り上げてきました。上下水道をはじめとした都市基盤設備の老朽化、少子高齢化にむかうコミュニティのあり方、人口減
少社会でも持続可能な財政基盤の確立等—武蔵野は今、とても大切な時期にさしかかっています。市民とともに汗をかき、成果のだせる職員の人材育
成の手ごたえと、「武蔵野」で御一緒したみなさんとのご縁に感謝して、子どもたちや孫たちのために、共に武蔵野の未来を切り拓いてまいります。

1期目
公約達成率
80%

仕掛中+新規公約
=6分野
58事業

任期中提案
90事業
(うち72事業実現、達成率80%)

待機児童 139名
(平成22年12月1日現在新基準)

0歳～15歳までの医療費無料化、子宮頸がんワクチンの9割補助、幼稚園入園助成金の拡大は実現しました。子どもの健やかな成長をみんなで応援できる環境整備に努めます。

- ◎多様な働き方やニーズに対応する「保育施設の増設」
- ◎吉祥寺駅圏に「病児・病後児保育施設」の設置
- ◎小児医療専門医の拡充(現在市内専門医25名)
- ◎全国初の(財)「子ども協会」による運営で「保育の質」をしっかりとサポート
- ◎孤独を感じない子育てのために、「子ども家庭支援センター(仮称)」の設置
- ◎無認可保育園等を利用される子どもたちに保育料の助成
- ◎妊娠時から応援!かかりつけ医でできる歯科検診

65歳以上のおひとり様
8,398名
(平成22年9月30日住民基本台帳ベース)

特養・老健等の施設の増設、認知症グループホームの実現をはかり、在宅介護を応援してきました。今後は「医療と福祉の連携」と「ふれあいの福祉コミュニティ」形成に努めます。3月議会では、大野田地区、四小地区で実施した住民参加の「地域懇談会」のさらなる深化と、地区社協の将来的な拠点化を提案しました。

- ◎往診・訪問看護システムの確立
- ◎住み替え可能な「医療・介護付き高品質高齢者マンション事業者」の誘致
- ◎「まちを福祉でデザイン」—市民参加による「地域福祉計画」の策定
- ◎回復期を支える「地域リハビリテーション拠点」の設置
- ◎おひとり暮らしの方のために「権利擁護」「成年後見制度」の拡充
- ◎小規模多機能型デイ・サービス「テンミリオンハウス」の増設・拠点化
- ◎高齢者総合センターでの高齢者社会参加活動の拡充
- ◎家族介護・看護の相談機能の充実
- ◎ICT等を活用した通報・位置確認見守りシステム

大丈夫! みんなで
見守っていくよ!

発達障害の早期発見の提言、小中学校での通級・固定級・特別支援学級の充実に努めました。老朽化が厳しく、水道も一カ所しか飲めない桜堤小での中学校通級「こぶし」は、いよいよ二中へ移転が決まりました。

- ◎3歳児健診+5歳児健診=早期発見と就学支援の充実
- ◎0歳から18歳までの途切れない支援「子ども発達支援センター(仮称)」設置
- ◎障害をもった高校生の居場所づくり
- ◎相談機能「ハビット」の充実と「ウィズ」での療育推進
- ◎武蔵野版「個別の支援ファイル」の作成
- ◎幼・保・小・中連携システムと特別支援教育の推進
- ◎精神障害の方のための「センター的機能」の創設
- ◎多様性(ダイバーシティ)を活かす市役所内就労支援
- ◎障害を持った方々のグループホームの創設

君たちの輝く未来へ—

8校13棟の耐震改修工事の完了、中学校給食の前倒し実現、各フロア毎に視聴覚教育を推進する地デジ対応テレビの設置、ソーシャル・スクールカウンセラーの配置、先生方に一人一台のパソコン導入等を実現してきました。いきいきと子どもが輝く学習の環境整備に努めていきます。

- ◎いじめ・不登校にしっかり寄り添う
- ◎学校の学習で、基礎的学力を向上
- ◎先生方の研修・研鑽のための「教育センター(仮称)」の設置
- ◎グローバルな視点を育てる「シティズンシップ教育」
- ◎情報を読み解く力を育てる「リテラシー教育」
- ◎地域の力を活かした児童の放課後の安全と児童館的機能をもった過ごし方の実現
- ◎直結水道整備と洋式トイレの拡充

生命と財産を守る!

一時避難所である市内小中学校8校13棟の耐震改修工事の完了、市内高齢者施設・障害者施設を福祉避難所として協定締結、初動体制の迅速化にむけて災害対策職員住宅を増設、マンホール型トイレの設置を提案しました。

- ◎災害時のBCP(事業継続計画)/BCM(事業継続経営)に基づく市役所体制の確立
- ◎武蔵野三鷹獣医師会との連携でペットの避難所設置
- ◎災害用マンホール型トイレの早期整備
- ◎市民参加で、「避難所運営マニュアル」作成

魅力あふれるまちを創る—

2007年8月のサブプライムローン問題に端を発する世界金融危機、2008年9月のリーマンショック後の景気の低迷とデフレ状況の中、緊急保証制度の枠を拡大しての利子補給、公共事業の前倒し発注と前払い基準の緩和を提言しました。今後は、市内産業の育成、観光振興、人材育成、NPO支援、コミュニティ・ビジネス支援等を条例制定と計画策定のもと、事業者の方々と手を携えて活性化を図ります。

- ◎産業推進条例(仮称)の制定
- ◎産業振興計画の策定
- ◎吉祥寺で成功する!—若年世代事業者のビジネスチャンスに応援する
- ◎「武蔵野市開発公社」のまちづくりセンター(仮称)化
- ◎ICTを活用した商業振興&ICT人材育成
- ◎文化振興と観光振興推進
- ◎高齢者や若年層・女性の地域就労支援
- ◎インキュベーター「武蔵野プレイス」での生涯学習とNPO設立支援

「希釈」から「水循環へ」

生命の水=「武蔵野のおいしい水」
私たちの「武蔵野のおいしい水」は、8割の深層地下水と2割の東京都の水で、供給されています。このおいしい水を供給する北町と境にある浄水タンクは、震度5弱の地震に耐えることができません。管路の老朽化も激しく、安定供給を図るために、市は東京都との整備の一元化にむけて、早急に協議にのぞむ必要があります。

武蔵野市民の品格にかけても!

たった1.3ミリから4ミリの降雨で、雨水と一緒に排泄汚水(うんち+生活雑排水)が善福寺川、野川、神田川等に垂れ流しになっています。「希釈(雨で薄まっていればいい)」という発想から、もっとも「水循環社会の形成」へと環境思考の大転換が必要です。3月議会では、迷惑をおかけしている杉並区との情報共有、区民への丁寧な説明、解決に向けた協議に入るとの答弁がありました。

- ◎雨水の調整と利活用を図る「雨水浸透ます設置条例(仮称)」の制定
- ◎「野川水再生センター(仮称)」の設置にむけての広域連携化
- ◎GIS統合型地理情報システムを活用しての下水道事業の見える化
- ◎地下水保全条例(仮称)策定

お願いコーナー

雨水浸透ますの設置にご協力をお願いします!
武蔵野市は、平成25年までに、3万基の「雨水浸透ます」設置を目指しています。現在の設置数は、25,000基で、まだまだ目標に届きません。雨水を地中に浸透させることで、下水の河川への流れだしを抑制することができます。どうか、みなさんのご協力をお願いいたします。

問い合わせ先 武蔵野市下水道課 0422-60-1867

大命題

=都市再生

1960年代から70年代の都市への人口移動、郊外へのベッドタウン化を背景に、武蔵野市もコミュニティ施策を中心に、まちをつくってきました。本市の保有する施設は、現在約130施設、160棟、33万㎡にのぼり、そのうち築後30年を超える建物が40%を超える状況です。災害に強いまちづくりを目指すことはもちろんのこと、公共施設のあり方、未利用地・低利用地の今後の整理・活用検討は、少子高齢化、人口減少社会を踏まえた「市民の使い勝手」+「市の長期の経営ビジョン」が重要です。

東京ドームグラウンド 1 個分の未利用地・低利用地

(総面積 13,000 ㎡)

市は、現在合計 55 件、総面積 12,705.68 ㎡の未利用地・低利用地を保有しています。民間企業では、バブル崩壊やリーマンショック後の地価の下落などの経験を経て、土地や株式はむしろリスク（含み経営との決別）と認識されるようになりました。会計制度の改革により、時価会計が導入されたため、多くの不動産を所有すると地価の上下によりバランスシートに大きな影響がでるようになりました。

PRE(公的不動産経営戦略) + FM(ファシリティ・マネジメント)

このため、不動産を所有せず、アウトソーシングやリース、証券化などの手法によって、経営を行う「オフバランス化」（「所有」から「活用」へ）が進んでいます。こうした資産マネジメントを公的不動産に適用したものがPRE(Public Real Estate)＝「公的不動産経営戦略」と呼び、国や自治体でもすでに取組がはじまっています。建物の予防保全、長寿命化を図る「ファシリティ・マネジメント」に加えて、市役所すべての部課にまたがった「市民サービスの向上」と「費用対効果（VFM）Value For Money」を最大化する手法として活用を図られています。

- ◎売電+給湯+複合施設で新武蔵野クリーンセンター建設と周辺のまちづくり
- ◎教育センター+子ども発達センター+社協+公社+男女共同参画センター=旧中央図書館跡地利用
- ◎定期借地権を導入した、公的不動産の利活用
- ◎災害に強く、低炭素な環境社会を実現する3駅圏の再整備
- ◎大規模土地所有者との連携

「選択と集中」の行財政改革

自治体会計は、借入も収入として扱い、取引の結果だけを現金の増減で把握する「単式簿記・現金主義」です。したがって、企業会計が行う「複式簿記・発生主義」のように、「バランス・シート（貸借対照表）」に基づいて、リアルタイムで財政状況を把握したり、将来展望を見通すことができません。東京都では、公会計改革の結果、都債返済積立金の約 5,000 億円の不足や、多摩ニュータウン事業の約 2,000 億円の累積欠損など総額 1 兆円もの「隠れ借金」が明らかになりました。お金の流れを把握する「収支計算書」をさらに進化させ、行政コスト計算書等を作成し、減価償却や金利などの発生主義を加味すれば、一つ一つの事業の費用対効果が数値で明らかになり、経営感覚の下、事業の見直しも進めやすくなります。この「複式簿記・発生主義」を、町田市は平成24年度から導入、三鷹市は今年 9 月の「平成 22 年度決算」より総務省改定モデルに沿って、財務諸表作成に取り組む予定です。

- ◎公会計制度改革を導入した経営ビジョンの確立
- ◎職員の時間外労働適正化
- ◎行財政改革の一環としての議会改革議員定数削減（26→22）
- ◎「二度とデリバティブに手を染めない」資産運用のルール化
- ◎「スクラップ フォー ビルド」の1200事業の仕分けと見直し
- ◎13の財政援助出資団体の統廃合
- ◎目的別基金の再編
- ◎競輪 11 市・競艇6市事務組合継続の見直し

「3つの制度」の基盤整備

- ◎ 行政と市民と議会の役割を明確にする「自治基本条例」の制定
- ◎ 議会の制度と役割を位置づける「議会基本条例」の制定
- ◎ 経営ビジョンを確立する「公会計制度改革」（東京都モデルの採用）

深田 貴美子 プロフィール

Kimiko Fukada Profile

- 1959年7月16日生まれ（血液型/A型）
- 干支は亥ではなく、猪 ●実家の本籍地は長野県上田市
- 吉祥寺本町1丁目在住（回遊歴32年）
- 港区立青山中学校→都立日比谷高校→東京女子大学社会学科卒業
- LVMH(ルイ・ヴィトン&モエ・ヘネシー)で財務担当→育児のため退社
- 子育て支援活動の傍ら、東京女子大学大学院博士後期課程に在籍し『高度情報化・分権社会における市民活動と自治』を執筆中
- 武蔵野市長期計画市民会議委員

- 本宿小学校PTA役員→本宿地区青少協
- 吉祥寺村立雑学大学「さんか塾」コーディネーター
- 所属委員会/総務委員会 ●都市計画審議会、青少年問題協議会委員
- 趣味/書道、観劇、舞踏、再現料理、クラシック〜JAZZ(増尾好秋♡)
- 家族/夫(熊本産)娘(広尾産)ごん(ミニチュアダックスフント・越ヶ谷産)
- 特技/弓道2段 ○パワースポット/恵林寺(山梨県・塩山)
- 目指すもの/ハブ空港 ○好きな言葉/一期一会



ご意見、ご要望を聞かせてください!

メール ✉ ippo-ippo@fukakimi.net
または電話 090-8025-4457 まで